

会 議 録

会 議 の 名 称	平成23年度第1回所沢市地域福祉推進検討委員会
開 催 日 時	平成23年12月19日(月) 午前10時~12時10分
開 催 場 所	市役所低層棟2階 202会議室
出席者の氏名	榎本委員 岡村委員 小原委員 神武委員 河原委員 柴井委員 豊田委員 仲田委員 羽鳥委員 福田委員 前橋委員 松本委員 黛委員 山江委員 吉田委員
欠 席 者 の 氏 名	
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 所沢市地域福祉計画および所沢市地域福祉推進検討委員会について (2) 「所沢市地域福祉計画の推進施策に関する提言書」に対する市の施策について (3) その他
会 議 資 料	平成23年度第1回所沢市地域福祉推進検討委員会次第 資料1 所沢市地域福祉計画および所沢市地域福祉推進検討委員会について 資料2 所沢市地域福祉推進検討委員会設置要綱 資料3 所沢市地域福祉推進検討委員会委員名簿 資料4 「所沢市地域福祉計画の推進施策に関する提言書」に対する市の施策について 参考資料 ・「所沢市地域福祉計画の推進施策に関する提言書」(平成23年3月30日) ・「所沢市地域福祉計画」(平成17年3月) ・「所沢市地域福祉計画 概要版」(平成20年3月) ・「地域福祉計画の体系」 ・「所沢市地域福祉活動計画 in 所沢 概要版」(平成19年度~23年度) ・「(仮称)所沢市総合福祉センターの建設計画について」 ・「(仮称)所沢市総合福祉センター概要(素案)」
担 当 部 課 名	保健福祉部福祉総務課 電話04(2998)9113 保健福祉部長 内藤 隆行 保健福祉部次長 本橋 則子 福祉総務課長 美甘 寿規 福祉総務課主幹 山崎 礼子 福祉総務課副主幹 水村 一男 福祉総務課副主幹 北田 裕司 福祉総務課主任 井上 大樹 福祉総務課主事 持丸 裕子

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
美甘課長 （司会）	<p>1. 開 会 会議を開会した。</p>
藤本市長	<p>2. 委嘱状の交付 平成23年12月1日付けで委嘱された第3期委員15名に対し、委嘱状を交付した。</p>
藤本市長	<p>3. 市長挨拶 市長が挨拶を行った。</p>
各委員	<p>出席委員の自己紹介 出席委員が自己紹介を行った。</p>
各職員	<p>事務局職員の自己紹介 事務局職員が自己紹介を行った。</p>
	<p>4. 会長・副会長の選出 内藤部長を座長とし、会長・副会長の選出を行った。</p>
岡村委員	<p>「事務局の意見を参考に聞かせていただけますか。」</p>
本橋次長	<p>「地域福祉計画は地域福祉を推進していくうえで非常に重要な計画であり、当計画に対する知識・経験が豊富な方が会長に適していると考えています。そこで、会長については、計画の策定段階から関わっており、また、前回の会長を務めていた前橋委員が適任と考えています。副会長については、会長に一任することをお願いしたいと考えます。」</p>
内藤部長	<p>事務局案に対し、意見を求めた。</p>
委員	<p>（異議なし）</p>
内藤部長	<p>会長は、前橋委員に決定した。 前橋会長に、副会長選出についての意見を求めた。</p>
前橋会長	<p>「地域福祉推進においては、地域での取り組みがより重要になることが考えられることから、自治連合会代表の松本委員さんをお願いしたいと思います。」</p>
内藤部長	<p>前橋会長の案に対し、意見を求めた。</p>

委員	(異議なし)
内藤部長	副会長は、松本委員に決定した。
前橋会長 松本副会長	会長・副会長の挨拶 それぞれが挨拶を行った。
美甘課長	会議の公開・非公開等の検討 下記事項について確認を行い、会議録の記録方式・署名・確定については、今後の会議においても同様とすることが承認された。 会議の公開・非公開について ・公開とする(非公開の基準(「所沢市の会議の公開に関する指針」)に非該当)。 会議録の記録方式 ・発言者名は公開とし、職員は原則職名をつけ、要約方式とする。 ・会議内容は、筆記・録音により記録する。 会議録の署名・確定 ・会長の承認・署名をもって確定する。
美甘課長	会議に関する説明・資料の確認 下記事項の説明を行った。 傍聴希望者1名。 所沢市社会福祉協議会職員1名が出席していること。 会議の終了予定時刻(午前12時)。 「それでは、本日の議題に移らせていただきます。前橋会長、進行をお願いします。」
前橋会長	5. 議 題 議題(1)「所沢市地域福祉計画および所沢市地域福祉推進検討委員会について」事務局に説明を求めた。
山崎主幹	資料1、資料2、資料3に沿って、下記事項の説明を行った。 所沢市地域福祉計画概要 ・平成17年3月策定(平成26年度までの10年計画で、見直しは3年ごと)。 ・市民と市が協働し、「豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち」の実現を目指す。 ・身近な地域での福祉の仕組みを整備する。 ・地域福祉活動計画(市社協)と連携を図る。 所沢市地域福祉推進検討委員会概要 ・役割:「所沢市地域福祉推進検討委員会設置要綱」第2条 ・任期:平成23年12月1日~平成26年11月30日(3年間)

	<p>今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議は、平日に2時間程度(予定)とする。 ・平成23年度の会議は2回、次年度以降は審議内容に応じて調整の予定。
前橋会長	「地域福祉計画と関連の深い「地域福祉活動計画」について、黨委員から説明をお願いします。」
黨委員	<p>「『地域福祉活動計画 in 所沢』の概要版に沿って説明いたします。現在の第2次地域福祉活動計画は、平成19年から23年の5ヵ年計画です。策定にあたっては、地域福祉活動推進会議を14回、その他に福祉関連機関や関係者の協力のもと、作業部会、連絡委員会などを開催しました。また、行政区ごとにタウンミーティングやアンケート調査で把握した福祉課題を反映した計画の素案をもとに住民説明会を実施したり、意見募集を行う等、約1年8ヵ月かけて完成したものです。</p> <p>第2次活動計画は、6つの基本目標と、19の施策という構成で、施策は年次ごとの事業計画の指針となる位置づけです。第2次活動計画は今年度で終了ですので、現在、第3次活動計画を策定中です。第2次活動計画は、項目もボリュームも多いので、第3次活動計画では具体的施策を絞り、わかりやすい内容にしようとしています。例えば、活動計画の名称もより親しみをもてるように検討中です。次回の委員会で、具体的な報告ができればと考えています。また、市の説明にもあったように、活動計画は、住民視点のもと、具体的な施策の実現・推進を図る民間の計画ですが、行政計画である地域福祉計画と切り離して考えるのではなく、相互に連携を図っていきたくて考えています。2つの計画の策定期間を合わせて統合する市町村も増えてきており、推進会議でもその方向でよいのではという意見がでています。」</p>
前橋会長	「ただ今の2名の説明に対し、ご質問やご意見などがありましたら、お受けいたします。」
神武委員	「将来的に所沢市の地域福祉計画と、社会福祉協議会の地域福祉活動計画の策定期間を合わせるという案は、この委員会で決めていくものなのでしょうか。」
美甘課長	「検討委員会委員の意見を踏まえ、社会福祉協議会と調整し、方向性を定めていきたくて考えます。」
前橋会長	議題(2)「所沢市地域福祉計画の推進施策に関する提言書」に対する市の施策について、事務局に説明を求めた。
山崎主幹	<p>資料4、「所沢市地域福祉計画の推進施策に関する提言書」に沿って、下記事項の説明を行った。</p> <p>「所沢市地域福祉計画の推進施策に関する提言書」の提言内容について</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・提言 1 福祉教育の充実にむけての提言 ・提言 2 地域福祉のさらなる推進のための協働・連携に関する提言 提言に対する市の施策（方向性）について <p>【提言 1 に対する施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育の体制を整備する。 ・福祉教育の実践・拡充を目指し、関係機関と連携を図る。 ・（仮称）所沢市総合福祉センターを活用し、人材養成・確保を図る。 <p>【提言 2 に対する施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉ネットワーク会議の立上げ支援などを行う。 ・横断的な連携・協力体制の構築を図る。 ・地域福祉活動計画（社協）との整合性を図る。 ・第三者機関による各計画の情報共有・共通理解を図る。
前橋会長	<p>「事務局の説明において、「地域福祉ネットワーク会議」という社会福祉協議会が主体となり行っている事業について話がでしたが、黨委員から補足的な説明があればお願いします。」</p>
黨委員	<p>「地域福祉ネットワーク会議と地域ネットワークの名称が似ていてわかりにくいという意見もあり、第 3 次活動計画で名称の変更を検討中です。ネットワーク会議は、活動計画の柱になっており、地域で活動する福祉団体がそれぞれの特徴を生かし、地域の福祉課題について協働して解決する、支え合いのネットワークづくりを意図しています。社協が呼びかけた団体で組織され、地域の情報や課題を共有し、連携・協力して、福祉活動の検討や実践を行っています。平成 22 年度までに 5 地区で立上げが完了しており、今後の立上げについては、検討・調整中です。山口地区では福祉協力員の委嘱などの活動が進んでいますが、一方で会議開催自体も苦戦している地区もある等、地区により進行度合いは異なっています。</p> <p>地域福祉ネットワーク会議の立上げについては、関連の深い自治連合会と社協で懇談会を年 2 回開催し、話し合いを進めています。社協側の体制を整え、今後の立上げ支援をどうすすめていくのが課題です。</p> <p>今年度、まちづくりセンター長の集まりの中で、社協の地域福祉の進め方や、ネットワーク会議についてプレゼンを実施し、理解をいただいています。そのため、まちづくりセンターが中心となって、24 年度から始まる地域ネットワークとの関係性について調整が図られていくと考えています。</p> <p>各地区の特色によってではありますが、社協側の見解としては、まちづくりセンターの地域ネットワークの「福祉部門」として、ネットワーク会議を位置づけて展開していくのがよいのではという考えであります。」</p>
前橋会長	<p>「ありがとうございました。ただ今の 2 名の説明に対し、ご質問やご意見などがありましたら、お受けいたします。」</p>

松本副会長	「モデル事業によって、地区ごとの特徴や事業の問題点が見えてきていると思うので、それを公表していただければと思います。自治連合会の長との懇談会はあるようですが、その情報が下にも伝わればと思います。」
前橋会長	「いかがでしょうか。」
黛委員	「アンケート調査を実施していますので、結果がまとまり次第、お伝えしたいと思います。自治連合会の会長会議では、福祉は重要だと思っても、その他の仕事も多く、なかなか実行できないのが現状ということでした。他には地域ネットワークの主体であるまちづくりセンターとコミュニケーションを深めてほしいという意見も出ています。」
前橋会長	「アンケートの調査結果のデータが揃いましたら、ご報告をお願いします。」
山江委員	「富岡地区の地域ケア会議に参加しています。その他にもいろいろと会議はあり、重なっている部分もあるように思います。地域包括支援センターも、高齢者だけを対象にしているわけではなく、例えば、認知症サポート養成講座は、地区にある学校の校長へ参加の依頼をしています。14の地区すべてで同じようにはできないとは思いますが、包括的ケアをするためには、高齢者とか障害とか、分けるのではなく、行政や様々な専門機関とインフォーマルな部分とが1つになっているのが理想だと思います。資料4、6ページの図の地域ネットワークの構成団体に、地域ネットワーク地域包括支援センターや地域ケア会議のっていないことが気になりました。」
前橋会長	「意見として承ります。それでは、その他になれば、次の議題に移ります。」 議題（3）「その他」について、事務局に説明を求めた。
水村副主幹	（仮称）所沢市総合福祉センターについて、「（仮称）所沢市総合福祉センターの建設計画について」、「（仮称）所沢市総合福祉センター概要（素案）」をもとに、次のとおり説明がなされた。 建設計画は、平成22年12月議会において議決され、「第5次所沢市総合計画前期基本計画」の今後、4年間に重点的に取り組む事業として位置づけされている。 提言書にも、指導者の育成部分で記載されている。 「所沢市総合計画」は「所沢市地域福祉計画」の上位計画となることから、整合性を図るため、「（仮称）所沢市総合福祉センター（複合施設）整備事業」を「所沢市地域福祉計画」に明確に位置づけたい。 （仮称）所沢市総合福祉センター概要は素案であり、確定しているものではない。
美甘課長	「あくまで素案であり、計画という段階ですが、地域福祉の中心となる施設であります。皆様のご意見をいただきながら、総合計画に基づいて実のあるものにしていきたいと考え

	<p>ています。」</p>
前橋会長	<p>「ただ今の説明に対し、ご質問やご意見などがありましたら、お受けいたします。」</p>
福田委員	<p>「総合福祉センターは素案の段階ということですが、少子化で学校の統廃合が進む中、空き教室が出てきていると思います。これまで様々な議論がされてきたとは思いますが、そのような場所を活用することは検討されてきたのでしょうか。」</p>
内藤部長	<p>「余裕教室についても注目してきました。しかし、最近では少人数学級や課題別学級など、多様な教育体系がとられるようになったことから、長期的に見て余裕教室の数が現状を維持するとは限らない、と教育委員会から見解を得ています。</p> <p>また、安心して出産できる体制が整っていないことが出生率の低下に繋がっているとも考えられますので、センターでは子ども支援、子育て支援機能も考えています。その他には、困窮者や障害者など、総合相談機能を重視しています。</p> <p>新市長においても、現総合計画を尊重することですので、いずれにせよ、自助、共助、公助を念頭に、関係機関だけでなく、広く市民の意見を伺い、検討を重ねながら事業を進めていきたいと考えます。」</p>
福田委員	<p>「施設を建設するという事は、建設費だけでなくメンテナンスにも多大な費用がかかってくるので、十分な議論をしていただき、慎重に検討していただきたいと思います。センター設置によって、子育て支援などができるということですが、現体制でもできないことはないと思います。</p> <p>また、議題2に関することになりますが、施策の具体的成果をもっと市民に見えるようにしていただきたいです。委員会やネットワークを多く作っていると「やっているな」という感じはしますが、総合的に、包括的にどうまとめていくのか、整合性をどう保つのかをお聞かせいただきたいです。」</p>
内藤部長	<p>「総合福祉センターについては、市民の代表である市議で構成される市議会において、相当の時間を割き、審議・検討を重ねたうえで承認を得ています。これからどのような内容で、実際にどのように進めていくのかは、執行部、また様々な立場の方からご意見をいただき、取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また、どのようにまとめていくかというコーディネートについては、課題があるのは事実であります。まちづくりセンターを地域拠点とする体制は始まったばかりで、何をどう進めていくかがこれからの課題です。所沢市で本格的な高齢化が進む中、これまでは1人の高齢者を多くの人で支えていましたが、現在は、1人を少人数で支える形になってきています。福祉も、高齢者福祉、障害者福祉、母子福祉などがありますが、地域福祉というのは各分野で行うのではなく、また、福祉部だけで進めることはできません。縦割りではなく、様々な部署が連携し、そして、中身については広くご意見をいただきながら進めていきたいと考えます。」</p>

前橋会長	「ほかにご質問やご意見はありますか。」
豊田委員	<p>「地域福祉ということですが、学校のカリキュラムでは地域学習が組み入れられ、その一環として老人憩いの家や特別施設などで職場体験をしています。こういったことから、福祉センターで行おうとしていることと、社会教育課で既に実施している事業とが重複するのではないかと思います。また、生涯学習センターもあり、そちらで代用できる部分もあるのではないかと思います。先ほど、福田委員が言われていたのは、いろいろな団体を分化するよりも、1か所で市民の政策会議のようなものを行った方が意見を集約できるのではないかと思います。確かに、私たちPTA連合会でも様々な催しがあり、子どもたちのために動いていると、自分の子どもとの会話がなくなってしまうという悪循環があります。そういったことを踏まえ、同じような事業を様々な場所で行うよりも、対市民という形でどこかで一本化する、包括的なものがあればと思います。</p> <p>また、一番弱い部分を代弁することが福祉だと思いますので、市民ニーズありきで考えていただきたいと思います。そういったことを反映できる委員会であればと思います。」</p>
前橋委員	「貴重なご意見をありがとうございます。事務局の方で何かありますか。」
美甘課長	「貴重なご意見をありがとうございます。この計画については、既存事業と重複して行うのではなく、できないものを福祉センターの中で行っていくという考えでいます。また、委員会は様々な立場からそれぞれの視点でご意見をいただける場と考えており、皆様のご意見を反映させながら、適切なあり方を考えていきたいと思っています。地域福祉計画について、わかりにくい部分もありますが、様々な角度からいっしょに考えていきたいと思っています。よろしくお願いたします。」
前橋会長	「こういう方向性の中で、この委員会において意見を出し合うということですので、そして、良い形で地域福祉支援を行うというスタンスで協力していきたいと思っています。その他に何かありますか、事務局から何かありますか。」
持丸主事	次回の会議日程について案内を行った。
前橋会長	「ほかになにかありますか。」
神武委員	「素案によると、社会福祉協議会の事務局が含まれるようですが、センターの運営は社会福祉協議会なのでしょうか。」
内藤部長	「施設全体の運営をどこかにという考えはなく、市の直営と考えています。ただ、相談業務など、個々の事業については、これまでの経験や実績などを踏まえながら、願う方向で考えています。」

柴井委員	「私はボランティア連絡協議会で、平成12年から（仮称）総合福祉センターをつくる会を立上げ、センター建設について関係し、長い期間検討してきた現在に至るわけですが、早くセンター建設を進めてほしいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。」
前橋会長	「ありがとうございます。その他にはありますか。（発言者なし。）それでは、すべての議題が終了しましたので、進行を事務局にお返しします。」
松本副会長	<div data-bbox="376 544 544 584" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5 . 閉 会</div> <p>会議を閉会した。</p>

第1回会議録として承認する

会長署名